

「地上では旅人であり、寄留者である～さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあがっていたのです。」ヘブル書 11 : 13~16 最近老人ホームにコンサートに行くことが多くなりました。先日コンサートをさせていただいた方々がとても喜んで、写真を送ってくださったのです。続いて次々に老人ホームからオファーがあります。又秋分の日に墓参りする人が多くて、秋分の日は辞書によると、「国民の祝日の一つ。9月23日頃で、秋の彼岸の中日。昼夜の長さがほぼ等しい。祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ。」と言うことで、人生の“死”をいつも以上に考えさせられます。「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」とありますから、死と言うのは何か怖いくらい悲しいイメージがあります。

しかしクリスチャンの「死生観」はまったく違うのです。死は終わりではなく、永遠の世界への入り口です。「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」ローマ 6 : 23 クリスチャンの召天式は♪また会う日まで また会う日まで 神のまもり汝が身を離れざれ♪と明るいです。主イエスキリストにある兄弟姉妹は又天で再会できるからです。(Tシャツ「パラダイス」で伝道も出来ます。)

アブラハムは“信仰の父”と呼ばれ創世記 12 : 1 には神のことばに従って、豊かな生活において全く知らない地へ旅立ち、その信仰を神様は喜ばれています。子孫が非常に多くなりカナンの地を与えられその祝福は非常に大きいことを約束されました。実際 4000 年たった今、確かにアブラハムに約束された祝福は成就しています。私たちもアブラハムのように神様に選ばれています。(ヨハネ 15 : 16)神から任命を受け滅び行く人たちに伝道してゆきましょう！聞き従ったゆえ受ける祝福と繁栄は更に素晴らしいものでしょう。しかし、彼は 9 節約束の地に“外国人のようにして住み、子や孫と共に天幕生活をした”と書かれてあります。そしてこの地上では旅人であり、寄留者であることを告白していたと言うのです！！

それがどんなに大きな恵みであっても、この地上はやがて終わります。私たちが帰るべき場所は「天の故郷」Paradise です。この世において神の愛と赦しを受け、信仰の訓練を受けて、やがて天の故郷に帰ってゆくのです。この永遠の世界が本番です。アブラハムのように聞き従う人生を全うしてゆきましょう！

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

ダニエル&シオン



Siloam

2016年9月18日 No.911

(シロアム：遣わされた者 ヨハネ 9 : 7)

新年度の御言葉

ルカの福音書 3:2~4

「神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに下った。」 2 節

「主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。」 4 節



風のひびき第4集歌集・CD制作に向かって

天国の歌が多い！！

主の十字架クリスチャンセンター The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>